

## From the Editor

デジタルトランスフォーメーション(DX)の巧拙が企業競争力に大きく影響する時代となった。そのことは、今号のSOFTECHSからも感じ取ることができる。

### ■ アライアンスを通じたグローバル案件への対応

日本発のグローバル製薬企業では、ITのインフラやアプリケーション、またそれらを運用するプロセスをグローバルで整備し、それを任せるITベンダーもグローバルで一括選定する動きが数年前から続いている。当社を含め、国内中心に事業展開してきたITベンダーにはチャレンジングな状況である。こうした状況に、グローバルITベンダーとのアライアンスで挑んでいる当社医薬ビジネス部門からの報告である。

### ■ 金融機関へのRPA導入事例報告

RPAはスモールスタートできる点も大きなメリットであるが、本稿で紹介する事例は大規模な取り組みである。業務そのものではなく、技術検証や実装上の課題などRPA導入のプロセス中心に紹介している。

### ■ 社内システム開発アジャイル化における技術課題の解決とチーム構築の経緯

ビジネス環境の変化への素早い対応を重視する分野、また、仮説と検証を繰り返しながら進めたい分野に向くことからアジャイル開発が広がりがつつあるが、まだ、日本のITの現場での主流ではない。そうした状況の中で、知見の蓄積や技術者育成の場とすることも意図して行った社内システム更改プロジェクトのメンバーによる報告である。

### ■ RPA導入初期につまずかないTips5選

本稿の執筆者は、小誌前号で、社内でこれからRPAを導入する担当者向けに、導入の進め方と考え方について紹介した。その続編である。RPAの初期導入を支援する中で経験した課題とその解決策について紹介している。

### ■ コンピュータ化システムバリデーションの最新動向

本稿執筆者は、ICH(医薬品規制調和国際会議)やDIA(Drug Information Association)の活動にも参画するなど、製薬R&Dの情報管理、電子申請、CSVの分野のエキスパートとして知られる。本稿では、CSV(Computerized System Validation)の最新動向として、Quality Risk ManagementをベースにしたRisk Based ApproachとData Integrityについて解説している。

### ■ 自動運転時代の安全性評価について

当社は、ドライバーの安全な運転を支援するシステムを主な領域として、車載システムにも注力している。そうした事業に携わるメンバーが、自動運転の安全性評価の分野での国際的動向についてまとめた。

### ■ 変革が続く中国医薬品入札制度とCAC上海の「入札管理プラットフォーム(E-biddingシステム)」

医薬分野のサービスはCACグループの中核領域であり、CAC上海も中国現地および外資系(日系含む)医薬関連企業にソリューション提供を行っている。その上海から、中国の医薬品調達における入札制度の導入とその影響、それに対応したソリューションの開発・提供についての報告が届いた。中国のデジタル化が日本の先を行くことは既に広く知られているが、社会の仕組みの変化スピードも日本を上回っているようである。

### ■ CAC Europeだより

ロンドンにあるCACヨーロッパから、現地と日本との仕事の進め方の違いや駐在員の生活について便りが届いた。Brexitの影響についても触れている。

### ■ 長崎BPOセンター設立と今後のサービス展開

当社は、人事業務とシステムの機能を包括的に提供する人事BPOサービスで20年の実績がある。昨夏に3つ目の拠点を長崎に開設した狙いや、BPaaS(Business Process as a Service)なども視野に入れた今後のサービス展開について述べている。

### ■ JISA中学校デジタル化プロジェクト2019参加レポート ～探究通信簿の作成とITを活用した教育の高度化～

情報サービス産業協会(JISA)は、2016年からJISA中学校デジタル化プロジェクトを実施している。このプロジェクトには当社が深く関わっており、小誌前々号でその目的や概要を紹介した。その続編として、ここ2年ほどの取り組みについて報告している。

事業革新や生産性向上を目指して日本企業のDX推進意欲は強く、ITサービス事業者にはDX対応のケイバリティ強化が求められている。それは現在の当社の事業方針とも合致しており、今後も、企業や社会のデジタルイノベーションをドライブする有益な情報を小誌などでお届けしていく。(K)